

令和2年度 事業報告

社会福祉法人しらゆり会

設立認可 : 平成17年2月25日
所在地 : 豊中市中桜塚2丁目9番24号
代表者 : 理事長 武内慎吾

法人概要

【法人の沿革】

平成 17 年 2 月	「社会福祉法人しらゆり会」創設	理事長	吉田純彦
平成 17 年 4 月	「さくらづか保育園」開園（定員 70 名）	園長	豊島朱美
平成 19 年 4 月	「のぼたけ保育園」開園（定員 140 名）	園長	吉田純彦
	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	土井文子
平成 23 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 90 名に変更		
	「のぼたけ保育園」定員 160 名に変更		
平成 25 年 4 月	「さくらづか保育園」施設長変更	園長	村上美香
平成 27 年 9 月	「のぼたけマミー保育園」開園（定員 20 名）	園長	奥瀬佳代子
平成 29 年 6 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	浅尾利機
平成 30 年 4 月	「さくらづか保育園」定員 120 名に変更		
平成 30 年 7 月	「社会福祉法人しらゆり会」代表者変更	理事長	武内慎吾
令和 3 年 4 月	「さくらづか保育園」「のぼたけ保育園」を幼保連携型認定こども園へ認可変更		

【保育の方針】

保育理念：「こどもはみんな宝物」

「こども達の最善の利益の尊重」

「こども達の育ちを支え、保護者の子育てを支える」

保育目標：「心身ともに健やかで、仲間を大切にする生き生きとしたこどもの育成」

- しなやかな身体と心を育む
- 仲間の中で自己主張でき、自分のことだけでなく相手のことも考え、認め合い、豊かな関わりを持つこどもを育てる
- 自分は大切な存在であると、自信をもって行動するこどもを育てる
- 自分で考え行動し、達成感・満足感を持てるこどもを育てる

職員心得

- 私たちはこども第一で仕事をします
- 保育士は、こどもの模範である事を常に自覚し、常識と良識に基づいて行動します
- 職務上知りえた個人情報の秘密を守ります
- 保育士として、常にその専門性の向上に努めます
- 保護者との信頼関係の構築に努めます
- 常に自己の責任の下に行動し、報告・連絡・相談を怠りません
- 他の職員との間で、お互いに良好な関係を保つ努力をします

【施設の概要】

さくらづか保育園 園長：村上 美香

所在地：〒561-0881 豊中市中桜塚2丁目9番24号

連絡先：TEL/06-6843-5868 FAX/06-6858-8088

E-mail/sakura5868@sakuraduka.ed.jp

のばたけ保育園 園長：吉田 純彦

所在地：〒560-0053 豊中市向丘3丁目2番1号

連絡先：TEL/06-6848-4560 FAX/06-6848-4426

E-mail/nobatake1@road.ocn.ne.jp

のばたけマミー保育園 園長：奥瀬 佳代子

所在地：〒560-0002 豊中市緑丘4丁目35番19号

連絡先：TEL/06-6853-3533 FAX/06-6151-5455

E-mail/nobatake.mami@clock.ocn.ne.jp



施設名		さくらづか 保育園	のぼたけ 保育園	のぼたけマミー 保育園
定員 (弾力化)	0歳	9 (15)	15 (15)	6 (6)
	1歳	20 (24)	25 (25)	7 (8)
	2歳	22 (24)	30 (30)	7 (7)
	3歳	23 (26)	30 (48)	—
	4歳	23 (27)	30 (30)	—
	5歳	23 (27)	30 (30)	—
	合計	120 (143) 名	160 (178) 名	20 (21) 名
職員数 (内非常勤)	園長	1	1	1
	副園長	—	1	—
	保育士	32 (13)	41 (10)	7 (4)
	保育補助	3 (3)	1 (1)	—
	看護師	1	1	1
	調理員	5 (3)	5	2
	用務・警備員等	3 (3)	3 (3)	—
	事務員	2 (1)	2 (2)	—
嘱託医	内科	1	1	1
	歯科	1	1	1
	眼科	1	1	—
	耳鼻咽喉科	1	1	—
第三者委員		岡本 清治	安芸 雅美	
		松 公造	平川 郁子	
敷地	全体	1665.60 m ²	4594.34 m ²	—
	園庭	370.19 m ²	864.34 m ²	—
建物	構造	鉄骨・木造平屋建 ／木造2階建	鉄筋コンクリート造2階 建／木造平屋建	賃貸 (榊千里ハイツ)
	延床面積	916.78 m ²	1328.98 m ²	130.25 m ²

法人報告

新型コロナウイルス感染拡大に伴い緊急事態宣言で始まった令和2年度は、施設の在り方・過ごし方などを一変しなくてはならない年度であった。その中で感染拡大防止対策を施しながら、開催できる行事は工夫を凝らしながら出来るだけ行い、各行事の開催方法についても感染防止対策以外にも再検討することができ、ある意味有意義な年度であったと振り返る。理事会・評議員会に関しては決議の省略で書面決議を行い、その他の法人運営に係る会議等は十分な感染対策を施した上で回数を限定したり、非対面での対応で行った。

運営については、昨年度は多くの離職者を出してしまったが、今年度は職員との会議や話し合える場面を増やししながら、様々な事柄について意思の共有を図り、改善に繋げていくことができた。今後も引き続き会議等を通して、各職員との意思共有を図っていく。

経営面としては、各施設とも積立金を計上することができ、良好な経営状態を保つことができたと言える。

1. 理事会・評議員会開催状況（決議の省略による書面決議）

日付	会議名	主な決議内容
令和2年6月5日	第1回 理事会	事業報告・決算、評議員選任・解任委員の選任
令和2年6月22日	第1回 定時評議員会	決算
令和3年2月26日	第2回 理事会	事業計画・予算
令和3年3月10日	第2回 評議員会	事業計画・予算

2. 協議会開催状況

日付	会議名	出席者
令和2年9月16日	幼保連携型認定こども園 についての聴聞会	豊中市 こども政策課 豊中市 こども事業課 さくらづか保育園 役職員 のばたけ保育園 役職員

新型コロナウイルス感染拡大防止の為、対面による会議は上記以外は中止。電話やメールでの連絡を事ある毎に行い、運営内容や決め事を話し合っ決めていった。

3. 月例監事確認

日付	監事名	確認対象月	場所
令和2年7月7日	二宮 健司	4・5月	山下公認会計士事務所
令和2年8月26日	遠藤 勝孝	6・7月	山下公認会計士事務所
令和2年10月27日	二宮 健司	8・9月	山下公認会計士事務所
令和2年12月22日	遠藤 勝孝	10・11月	山下公認会計士事務所
令和3年2月24日	二宮 健司	12・1月	山下公認会計士事務所
令和3年5月20日	二宮 健司 遠藤 勝孝	2・3月	幼保連携型認定こども園 のばたけ保育園

各施設報告

【さくらづか保育園】

1. 月別利用児童数（上段：初日在籍、下段：出席累計）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員 (弾力化実数)	9 (15)	20 (24)	22 (24)	23 (26)	23 (27)	23 (27)	120 (143)
4月	14	23	24	26	27	27	141
	94	253	264	297	216	254	1,378
5月	15	24	24	26	27	27	143
	70	183	172	197	122	115	859
6月	15	24	24	26	27	27	143
	243	479	434	521	520	498	2,695
7月	15	24	24	26	27	26	142
	291	467	445	522	543	517	2,785
8月	15	24	24	26	27	26	142
	242	397	396	438	460	402	2,335
9月	15	24	24	26	27	26	142
	268	465	458	499	524	491	2,705
10月	15	24	24	26	27	27	143
	341	535	516	573	600	604	3,169
11月	15	24	24	26	27	27	143
	275	434	438	469	495	515	2,626
12月	15	24	24	26	27	27	143
	293	449	432	478	510	508	2,670
1月	15	24	24	26	27	27	143
	268	429	421	446	484	462	2,510
2月	15	24	24	26	27	27	143
	273	427	435	463	474	468	2,540
3月	15	24	24	26	27	27	143
	331	540	537	564	594	593	3,159
合計	179	287	288	312	324	321	1,711
	2,989	5,416	5,541	5,873	6,174	5,711	29,431

2. 職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	7名	2名	令和3年度 補充2名
非常勤職員 (派遣職員除く)	4名	1名	令和3年度 補充1名

3. 本年度重点的に取り組んだ事項

- 5月の緊急事態宣言時に園全体の消毒や園庭の遊具収納棚のリフォームを行う等環境整備を行った
- 来年度から幼保連携型認定こども園に移行するにあたり、園の重要事項の変更点を把握し、指針について学習会を行った。
- 11月に認定こども園の説明、重要事項の説明を行い保護者全員から同意を得られた。
- 新型コロナウイルスの感染が続く中、感染拡大の予防を行いながら行事（運動会・生活発表会等）を行った。

4. 取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルスが流行した年度だったが、感染予防対策を保護者の方に周知し、運動会は2部制、生活発表会は学年ごとに披露しながら開催をした。内容は縮小した形になったが、お子さんの成長を見る事ができてよかったと感想をいただいた。(お泊り保育・卒園式も開催できた) ● 玩具の消毒リストを作成し随時行ったり、幼児組はマスクを着用にしたり感染予防対策を行いながら保育を進めた。 ● 乳児組は担当制を意識しながら少人数で遊ぶことを取り入れる事により落ち着いて過ごせるようになった。 ● 食育でクッキングはできなかったが、菜園で玉ねぎやとうもろこし等野菜を育て食することができた。

職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 1 回目の緊急事態宣言時は保育士を順次交代で在宅勤務をしながら保育を進めた。 ● カリキュラム・日誌等の書類は登降園システムに入力作成するようにし、書類作成の効率化を図った。 ● 職員の意見を取り入れやすい組織づくりを目指すため、リーダー会の開催の仕方を園長・主任・副主任で意見交換し、ファシリテーションの大切さを感じ、学んで実践に活かしていきたい。 ● 有給取得率は 98.6%であった。引き続き 100%を目指していく。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態宣言期間以外は感染拡大防止対策を行いながら、一時保育・園庭開放を行った。園庭開放については、他園では中止していたのか地域の方が多く来園したので、人数制限を設けて行った。 ● 0・1 歳児サークルは中止 ● 高齢者の方との交流（敬老の日・地域給食サロン）は中止

5. その他特記事項

- ホール・2 歳児クラス・一時保育クラスの夏場の室温上昇がエアコンでは賄いきれないため、窓ガラスにコーティング剤を塗布し、室温上昇を抑える工事を行った。

【のぼたけ保育園】

1. 月別利用児童数（上段：初日在籍、下段：出席累計）

区 分	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合計
定 員 (弾力化実数)	15 (15)	25 (25)	30 (30)	30 (48)	30 (30)	30 (30)	160 (178)
4 月	12	24	30	48	30	30	174
	92	271	204	456	338	328	1,689
5 月	15	25	30	48	30	30	178
	67	208	271	321	222	221	1,310
6 月	15	25	30	48	30	30	178
	219	525	626	926	610	598	3,504
7 月	15	25	30	48	30	30	178
	277	507	606	932	599	609	3,530
8 月	15	25	30	48	30	30	178
	236	418	526	788	517	494	2,979
9 月	15	25	30	48	30	30	178
	277	482	595	931	604	606	3,495
10 月	15	25	30	48	30	30	178
	284	538	664	1,023	657	638	3,804
11 月	15	25	30	48	30	30	178
	263	477	572	919	582	576	3,389
12 月	15	25	30	48	30	30	178
	257	480	577	917	577	579	3,387
1 月	15	25	30	48	30	30	178
	267	433	523	839	540	538	3,140
2 月	15	25	30	48	30	30	178
	260	416	531	848	535	529	3,119
3 月	15	25	30	48	30	30	178
	330	526	663	1,039	671	687	3,916
合計	177	299	360	576	360	360	2,132
	2,829	5,281	6,358	9,939	6,452	6,403	37,262

2. 職員定着状況

区 分	採用者数	退職者数	備 考
常勤職員 (正規職員)	10名	7名	令和3年度 補充5名
非常勤職員 (派遣職員除く)	0名	0名	令和3年度 補充0名

3. 本年度重点的に取り組んだ事項

- 保育のねらいやカリキュラムの振り返りを行い、子ども一人ひとりが主体的に生活する事が出来るように努める。
- 職員間のコミュニケーション力を高め、互いの思いを共感したり、協力したりし合える職場環境を整える。
- 地域の連絡会や小学校区連絡会等へ積極的に参加し、地域との連携を図る。

4. 取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 園長が職員会議等を通して法人が大切にしている思いを園内研修や会議等機会ある毎に話すことで職員全体の意識統一を図るようにした。 ● カリキュラムの立て方を見直すことで、日々の保育の連続性を大切にすることやあたりまえにやっていたことの見直しをするなど、保育の充実性が深まってきている。 ● 園内外の研修により、個人のインプットだけでなく学んだことをアウトプットすることで職員全体の意識や保育の質の向上を高めていくことができた。

職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● メンター職員が新人の職員の相談役となり話や悩みを聞くことで、子どもの成長の実感、保育の充実感や満足感を感じ、信頼関係の深まりで保育を学ぶ楽しさが得られるような機会を持つように取り組んだ。 ● 保育士それぞれが得意分野を活かして効率よく仕事がまわるように協力しあうことが出来た。また家庭の事情などで仕事を抜けなければならないときも全員でフォローしあう雰囲気づくり・体制づくりに取り組んだ。 ● ノー残業デーを積極的に呼びかけることや、持ち帰り仕事の軽減や残務作業に追われないようにリーダー職員がこれまでの作業の見直しをはかるなど、園全体で仕事内容の見直しを図り働きやすい職場環境作りに取り組んだ。
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の状況下、なかなか従来通りの地域との交流を積極的に図る機会がもつことができなかった。 ● 進学に向けて、各小学校との連携は密に図ることができた。 ● 保育実習生・子育て支援員実習の積極的な受け入れに取り組んだ。

5. その他特記事項
特になし

【のぼたけマミー保育園】

1. 月別利用児童数（上段：初日在籍、下段：出席累計）

区分	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
定員 (弾力化実数)	6 (6)	7 (8)	7 (7)	—	—	—	20 (21)
4月	5	5	7	—	—	—	17
	37	26	53				116
5月	5	8	7	—	—	—	20
	26	4	21				51
6月	6	8	7	—	—	—	21
	103	100	129				332
7月	6	8	7	—	—	—	21
	104	144	123				371
8月	6	8	7	—	—	—	21
	88	144	118				350
9月	6	8	7	—	—	—	21
	102	142	139				383
10月	6	8	7	—	—	—	21
	125	178	152				455
11月	6	8	7	—	—	—	21
	111	144	129				384
12月	6	8	7	—	—	—	21
	113	155	140				406
1月	6	8	7	—	—	—	21
	109	154	127				483
2月	6	7	7	—	—	—	20
	102	141	125				368
3月	6	8	7	—	—	—	21
	134	178	163				475
合計	70	84	84	—	—	—	247
	1,154	1,510	1,419				4,083

2. 職員定着状況

区分	採用者数	退職者数	備考
常勤職員 (正規職員)	0名	1名	令和3年度 補充 2名
非常勤職員 (派遣職員除く)	3名	0名 (常勤に2名移動)	令和3年度 補充 0名

3. 本年度重点的に取り組んだ事項

- 愛着感情を育むことを基本とし、豊かな経験ができるよう物的・人的環境を整えた。
- 安全・健康に過ごせるよう、室内外の衛生管理に努めた。
- 保護者が安心できるよう、情報配信や園児の姿を配信して情報提供に努めた。

4. 取り組んだ事項の具体的な項目と取り組み結果

項目	取組結果
保育内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもの思い・興味に応じた支援の仕方・声かけの工夫が見られた。 ● コーナー遊びの取り組みの中で、興味・関心に応じた環境構成を工夫したが、一年を通して統一的な保育に進めることが難しく、園児の興味の広がりを見極めたり、職員間の情報交換を通して園全体で取り組む必要がある。 ● 野菜の栽培、収穫をして、食への興味が深まり、食べる意欲につながった。 ● 小動物を飼育観察し、生命の不思議を感じいのちを大切に思う気持ちが育った。図鑑などを見る機会が増え、興味の範囲が広がり、友だちや保育士と話す機会が増えた。 ● 意欲的に運動遊びに参加し、動きが安定し身のこなし方や、危険回避な身体能力が高くなった。 ● 保護者の園内での動きが制限されたり、行事参加ができなくなる中、不安解消のため、園児の姿を動画配信したり、ホームページをこまめに更新して保育園での様子を伝えた。 ● きめ細やかに保護者に関わることで、子ども理解・保育への理解が深まり、家庭とともに子育てをする意識作りに繋がった。

職員処遇	<ul style="list-style-type: none"> ● 年度末の雑多な仕事を効率よく進める工夫は今後の課題であるが、事務上りは比較的出来てきた。 ● キャリアアップ研修に参加できた。 ● オンライン研修で保育士が希望する研修に多く参加できた。 ● 特技を生かした活動ができる工夫をした。 ● 可能な限り有給を消化できるように勧めた。取得率 86.1%→88.0%
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、保育園開放ができなかった。 ● 公園の清掃活動を行った。

5. その他特記事項

特になし